

菩提心

第4号

2026.5.1

発行者 江川清弘

編集者 江川正司

瑞應山祥雲寺

あいさつ

日頃より、祥雲寺に対しまして、ご理解ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

世界の社会状況を見ますと、ウクライナでは今でも戦争が続いており、また至る所で紛争が起こっています。日本国内では、初めて女性の総理大臣として、高市政権が発足し、日本社会も大きく変わろうとしています。

お寺では、昨年長男正司、次男弘基が結婚し、正司には第一子が誕生しました。また、愛知県第一宗務所の職員の任期も残すところ半年余りとなりました。三男祥也は横浜の大本山總持寺での修行が終わり、これからは地元に戻って、和尚として勉強し、経験を積んでいくでしょう。

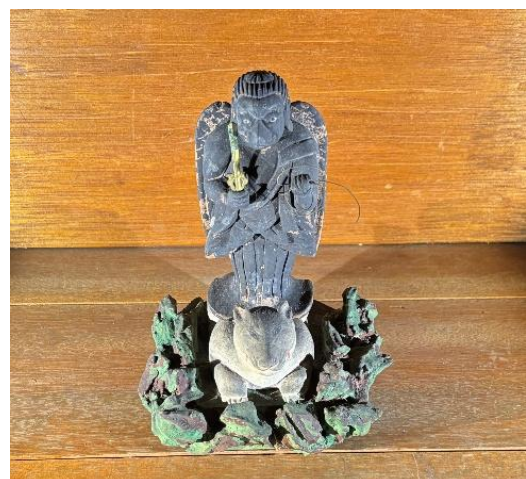
さまざまな変化が起こっている中で、お寺でも対応が求められます。今まで続けてきた供養や法要は、その意義を改めて問い、大切にしていくと同時に、新しい世代の知恵や技術も取り入れて、布教活動に取り組んでいきたいと思えます。

江川 清弘

本堂西側の改修

祥雲寺本堂の左側には、「火の神さま」として信仰される秋葉山があります。昨年は前机を改修しましたが、今年は厨子と裏壁の修復を行いました。厨子は傷みが激しく、内部には虫食いも見られる状態でしたが、このたび美しくよみがえりました。掲載の写真は、厨子の中にお祀りしている秋葉山のご神体です。

また、秋葉山の両側には十六羅漢さまが安置されています。十六羅漢



漢は、特に優れたお釈迦様の弟子で、仏法を後世に伝える使命を託された方々です。この度の修繕に伴い、羅漢さまを移動し、この機会に体ずつ丁寧に清掃いたしました。

これらは明治時代、第十三代住職の頃から伝わるもので、百年以上にわたり祥雲寺を見守ってこられました。歴史に思いを馳せながら心を込めて拭かせていただきました。羅漢さまは一体ごとに表情や姿が異なり、髭や眉の細かい表現、痩せた



体つきやお袈裟の模様など多彩で、それぞれに個性があります。仏師の繊細な技に触れ、仏さまと向き合うありがたい時間となりました。どうぞ秋葉山と十六羅漢さまにもお参りください。

なお、今年度は品野羅漢供養会が祥雲寺にて行われます。浄源寺・吉祥寺・久雲寺と輪番で毎年行っており、祥雲寺での開催は四年ぶりとなります。(九月二十三日)

ホームページ改訂と

公式LINE『祥雲寺』開設

このたび、祥雲寺のホームページを改訂いたしました。近年は、インターネットで情報を探すことが一般的になり、実際に調べてから、お寺に来る人が増えています。より多くの方に祥雲寺の活動を知っていただくよう、内容を見直し、行事予定や坐禅会の案内などを分かりやすく掲載いたしました。

祥雲寺では「現代のことばと方法で仏教を伝える」ことを大切に行っています。その一つとして、これからの情報発信を工夫してまいります。なお、これまで通りのお知らせも続けてまいりますので、安心ください。

また、公式LINEも開設いたしました。法事のご予約や各種お問い合わせを、電話・対面に加



ホームページはこちらから

<https://shoun-ji.com>



えてLINEでも受け付けております。いただいたメッセージは寺にて確認のうえ順次返信いたします。上記のQRコードよりぜひご登録ください。

観音大祭

「悪い夢を良い夢に変えてくれる」と伝えられている、夢違観音のご祈禱を行いました。お経の前にはトロンボーン三重奏やピアノの演奏もあり、本堂全体に優しい音色が広がりました。毎年楽しみに来てくださる方もいて、とても嬉しく思います。

最後にはお楽しみみの抽選会もあり、和やかな雰囲気につつまれました。天気にも恵まれ、紅葉も見頃で、心あたたまる一日となりました。ご参列くださった皆さま、ありがとうございます。これからの一年も、健やかに過ごしていただければ幸いです。



坐禅会

祥雲寺では、坐禅を通して仏教を伝える取り組みが続いています。曹洞宗の坐禅は「只管打坐（しかんたざ）」といい、ただひたすらに座ることを意味します。何かを達成するためでも、心を無理に静めるためでもありません。ただ今ここに坐り、呼吸を整え、そのままの自分を見つめる時間です。

私たちは日々、仕事や家庭など、さまざまな役割の中で生きています。それはまるで土俵の上で戦い続けているような毎日です。坐禅とは、その土俵から一度下りること。評価や忙しさから離れ、静かに自分自身と向き合う時間です。祥雲寺は自然に囲まれた静かな環境にあります。風の音や鳥の声を感じながら坐るひとときは、日常とは少し違う安らぎを与えてくれます。「坐禅は安楽の法門なり」という言葉があります。誰にでも坐禅こそが心安らぐ仏道への入り口だという意味で、決して特別な修行ではありません。

これまでには、商工会議所青年部の皆さまにも坐禅体験にお越しいただきました。初めての方にも、姿勢や呼吸の整え方を丁寧にお伝えし、警策の体験もしていただきました。また、副住職はインターネッツ上のメタバース空間でも坐禅会を行っています。現実の会場とオン



ラインでつなぐハイブリッド坐禅会も開催し、場所を超えて仏教に触れられる機会を広げています。

祥雲寺では、月に二回の坐禅会や、個人・グループ向けの坐禅プログラムのご相談も承っております。初めての方でも安心してご参加いただけますので、少しでもご興味があれば、どうぞお気軽にお問い合わせください。

仏前結婚式

このたび、祥雲寺本堂において仏前結婚式を執り行うこととなりました。

仏前結婚式とは、仏さま、祥雲寺のご本尊さまの御前で結婚を誓う儀式です。ご先祖さま、そして仏さまに見守られながら、夫婦としての歩みを始めます。

結婚式といえば教会式や人前式、神前式が多く、仏前結婚式はあまり知られていないかもしれませんが、日本の伝統的な結婚式の形のひとつです。お寺の本堂で執り行う厳かな雰囲気は、仏教ならではの温かみがあります。

檀信徒の皆さまをはじめ、どなたでもご自由にご参加いただけます。どうぞお気軽にお越しください。詳しい情報やご質問などは、祥雲寺までお問い合わせください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

令和八年十二月二十二日(土)十四時 開式

於 祥雲寺本堂

新郎 江川正司

新婦 江川祐未

年間行事

令和8年度

<u>施食会</u>	<u>8月8日(土)・9日(日)</u>
<u>盆棚経</u>	<u>8月12日(水)~15日(土)</u>
<u>観音大祭</u>	<u>11月15日(日) 13時半から</u> <u>(ご祈祷は14時半から)</u>
<u>秋葉大祭</u>	<u>12月6日(日) 10時から</u>
<u>大般若会</u>	<u>1月12日(火)14時から(令和9年)</u>
<u>涅槃会</u>	<u>2月6日(土)14時から(令和9年)</u>

月間行事

<u>観音講</u>	<u>毎月第2又は第3土曜日 14時から</u>
<u>坐禅会</u>	<u>毎月第3土曜 8時から</u> <u>毎月第2又は第3土曜 17時から</u>

特別行事

<u>品野羅漢供養会</u>	<u>9月23日(水)14時から</u>
<u>副住職 結婚式</u>	<u>12月12日(土)14時から</u>

年回忌早見表

五	四	四	三	三	二	二	十	十	七	三	一
十	七	三	七	三	七	三	七	三	回忌	回忌	周忌
回忌	回忌	回忌	回忌	回忌	回忌	回忌	回忌	回忌			
昭和五十二年	昭和五十五年	昭和五十九年	平成二年	平成六年	平成十年	平成十二年	平成十六年	平成二十年	令和二年	令和六年	令和七年